



平成20年5月19日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証・大証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

「平成20年3月期決算(案)」のお知らせ

T&D保険グループ (T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命) の平成20年3月期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) の決算(案)につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績

- 生命保険会社3社合算の契約業績 (個人保険・個人年金保険) は、
 新契約高は、6兆2,018億円、前年から6.5%の減少、
 解約失効高は、5兆642億円、前年から5.6%の減少、
 保有契約高は、59兆3,403億円、前年度末から0.9%の減少となりました。

損益関係 (T&Dホールディングス連結)

- 経常収益は2兆3,300億円、前年から1.9%の増加、
 うち、保険料等収入は、1兆6,131億円、前年から11.0%の減少となりました。
- 経常利益は、1,557億円、前年から1.6%の減少となりました。
- 当期純利益は、367億円、前年から5.2%の減少となりました。

株主配当

- 1株当たり年間配当金は、前期と同額の65円を予定しています。

以上

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報部	関山	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	木村	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	古谷	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	稲生	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約高	62,018	6.5%減	14,741	30.7%減	46,342	7.1%増	933	48.0%減
解約失効高 (解約失効率)	50,642	5.6%減	13,486 (7.64%)	10.3%減 0.91ポイント低下	35,500 (8.93%)	1.8%減 0.11ポイント低下	1,655 (6.56%)	31.8%減 2.55ポイント低下
保有契約高	593,403	0.9%減	171,822	2.6%減	398,971	0.4%増	22,610	10.4%減
新契約年換算保険料	1,175	17.9%減	327	10.5%減	719	13.7%減	127	44.6%減
うち医療保障・ 生前給付保障等	135	20.4%減	95	27.3%減	39	2.6%増	—	100.0%減
保有契約年換算保険料	14,259	1.5%減	6,373	3.8%減	6,891	0.4%減	993	7.9%増
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,741	1.8%減	1,110	0.9%減	570	2.7%減	61	9.3%減

(注)新契約高には転換による純増加高を含みます。

< 3社単純合算 >

- ・新契約高は、大同生命は増加したものの太陽生命およびT&Dフィナンシャル生命で減少したことにより6兆2,018億円、前年から6.5%減少しました。
- ・解約失効高は、5兆642億円、前年から5.6%減少しました。
- ・保有契約高は、59兆3,403億円となり、前年度末から0.9%減少しました。

○太陽生命

- ・新契約高は、1兆4,741億円、前年から30.7%の減少。これは主に、主力の終身保険が低調だったため。
- ・解約失効高は、1兆3,486億円、前年から10.3%の減少。
解約失効率は、7.64%、前年から0.91ポイントの低下。
- ・保有契約高は、17兆1,822億円、前年度末から4,622億円、2.6%の減少。
- ・保有契約年換算保険料は6,373億円、前年度末から3.8%の減少。

○大同生命

- ・新契約高は、4兆6,342億円、前年から7.1%の増加。
うち、主力の個人定期保険は、4兆4,898億円、前年から8.4%の増加。
- ・解約失効高は、3兆5,500億円、前年から1.8%の減少。
解約失効率は、8.93%、前年から0.11ポイントの低下。
- ・保有契約高は、39兆8,971億円、前年度末から1,650億円、0.4%の増加。
うち、個人定期保険は、36兆1,753億円、前年度末から1.0%増加して過去最高。
- ・保有契約年換算保険料は、6,891億円、前年度末から0.4%の減少。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・新契約高は、933億円、前年から48.0%の減少。
これは主に、金融商品取引法施行の影響等で代理店の販売が10月以降伸び悩んだため。
- ・解約失効高は、1,655億円、前年から31.8%の減少。
解約失効率は、6.56%、前年から2.55ポイントの低下。
- ・保有契約高は、2兆2,610億円、前年度末から2,623億円、10.4%の減少。
うち、変額個人年金保険の保有契約高は5,968億円、前年度末から247億円、4.0%の減少。
- ・保有契約年換算保険料は993億円、前年度末から7.9%の増加。

[損益関係]

(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当連結会計年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
経常収益	23,300	1.9%増	10,003	1.2%減	11,363	7.0%増	1,804	32.2%減
うち保険料等収入	16,131	11.0%減	6,357	9.9%減	8,433	2.5%減	1,340	44.3%減
うち資産運用収益	4,454	9.3%増	2,296	8.4%増	2,057	12.2%増	198	15.5%増
経常費用	21,743	2.2%増	9,433	1.8%減	10,316	9.7%増	1,901	32.0%減
うち保険金等支払金	16,470	1.0%増	7,471	3.3%減	8,043	6.1%増	955	4.0%減
うち資産運用費用	2,419	110.0%増	761	8.2%増	946	114.4%増	779	1,535.5%増
経常利益(△損失)	1,557	1.6%減	570	10.4%増	1,046	13.7%減	△96	28.5%減
特別利益	61	167.3%増	6	82.8%減	51	66.1%増	0	100.0%減
特別損失	375	6.3%増	216	16.4%増	154	2.8%減	0	97.7%減
契約者配当準備金繰入額	453	19.6%減	139	7.2%減	312	22.0%減	1	86.7%減
税引前当期純利益(△損失)	789	14.9%増	220	0.5%増	631	7.7%減	△98	35.2%減
法人税及び住民税等	421	41.7%増	100	17.4%増	327	29.4%増	△29	35.1%減
当期純利益(△損失)	367	5.2%減	120	10.2%減	304	29.4%減	△69	35.3%減

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは一致いたしません。
 2. 法人税及び住民税等は、法人税等調整額を含んでおります。
 3. 生命保険会社3社の保険料等収入の単純合算は16,131億円です。

<T&Dホールディングス連結>

- ・ 経常収益は、2兆3,300億円、前年から1.9%増加しました。
 - ・ 経常利益は、1,557億円、前年から1.6%減少しました。
 - ・ 当期純利益は、367億円、前年から5.2%減少しました。
- これは主に、有税処理の有価証券評価損の増加に伴い法人税及び住民税等が増加したことによるものです。

○太陽生命

- ・ 保険料等収入は、6,357億円、前年から9.9%の減少。これは主に、団体年金保険の保険料の減少および一時払終身保険の保険料の減少による。
- ・ 資産運用収益は、2,296億円、前年から8.4%の増加。これは主に、利息及び配当金等収入の増加および有価証券売却益の増加による。
- ・ 保険金等支払金は、7,471億円、前年から3.3%の減少。これは主に、満期保険金の支払い金額の減少による。
- ・ 資産運用費用は、761億円、前年から8.2%の増加。これは主に、有価証券売却損および有価証券評価損の増加による。
- ・ 経常利益は、570億円、前年から10.4%の増加。
- ・ 特別損失は、216億円、前年から16.4%の増加。これは主に、価格変動準備金繰入額の増加による。
- ・ 当期純利益は、120億円、前年から10.2%の減少。

○大同生命

- ・ 保険料等収入は、8,433億円、前年から2.5%の減少。これは主に、団体年金保険の保険料の減少による。なお、個人定期保険は、5,495億円、前年から1.0%の増加。
- ・ 資産運用収益は、2,057億円、前年から12.2%の増加。これは主に、利息及び配当金等収入および金融派生商品収益の増加による。
- ・ 保険金等支払金は、8,043億円、前年から6.1%の増加。これは主に、団体年金保険の支払金の増加による。
- ・ 資産運用費用は、946億円、前年から114.4%の増加。これは主に、株価下落・円高進行に伴い売買目的有価証券運用損および有価証券評価損が増加したことによる。
- ・ 経常利益は、1,046億円、前年から13.7%の減少。
- ・ 特別利益は、51億円、前年から66.1%の増加。これは主に、固定資産等処分益の増加による。
- ・ 当期純利益は、304億円、前年から29.4%の減少。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・ 保険料等収入は、1,340億円、前年から44.3%の減少。これは主に、変額個人年金保険の新契約の減少による。
- ・ 資産運用収益は、198億円、前年から15.5%の増加。これは主に、変額個人年金保険に係る金銭の信託運用益が増加したため。
- ・ 保険金等支払金は、955億円、前年から4.0%の減少。これは主に、変額個人年金保険の解約返戻金の減少による。
- ・ 資産運用費用は、779億円、前年から1,535.5%の増加。これは主に、特別勘定資産運用損の増加による。
- ・ 経常損失は、96億円、前年から38億円の改善。これは主に、変額個人年金保険の販売減に伴う責任準備金繰入負担の減少による。
- ・ 当期純損失は、69億円、前年から37億円の改善。

【その他の指標等】

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
基礎利益	1,597	7.8%減	530	1.7%減	1,248	0.7%減	△181	181.6%増
逆ざや額			176	70減	—(注)	—	41	0減

(注)大同生命は217億円の順ざや(前年度は83億円の順ざや)となっております。

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比較増減	当事業年度末	前年度末比較増減	当事業年度末	前年度末比較増減	当事業年度末	前年度末比較増減
ソルベンシー・マージン比率			1,000.6%	99.8ポイント低下	1,095.3%	225.1ポイント低下	920.7%	283.0ポイント低下
実質純資産	14,999	5,077減	6,597	1,749減	7,764	3,330減	637	2増
有価証券差損益(一般勘定)	4,320	6,133減	2,666	2,329減	1,638	3,825減	14	21増
うち公社債	954	695増	631	549増	307	120増	15	25増
うち株式	3,253	3,489減	2,105	2,151減	1,147	1,337減	—	—
うち外国証券	△31	668減	7	530減	△38	136減	△0	0減
うちその他の証券	53	2,471減	△110	239減	164	2,229減	△0	3減
うち金銭の信託	3	294減	—	—	3	294減	—	—
土地等の差損益	710	422増	358	241増	352	181増	—	—

- (注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しています。また、金銭の信託内で保有する有価証券のうち、売買目的有価証券以外のものの差損益を記載しています。
2. 土地等の差損益は、太陽生命は鑑定評価額及び公示価格等、大同生命は原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格)をもとに算出しています。
3. T&D保険グループのヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)は、1兆6,216億円(前年度末比4,504億円減)となりました。なお、太陽生命は5,749億円(同1,637億円減)、大同生命は9,907億円(同2,722億円減)、T&Dフィナンシャル生命は560億円(同144億円減)となりました。詳しくは、「平成20年3月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

＜3社単純合算＞

- ・基礎利益は、1,597億円、前年から7.8%減少しました。これは主に、T&Dフィナンシャル生命の変額個人年金保険の最低保証責任準備金繰入額が増加したことによるものです。
- ・実質純資産は、1兆4,999億円、前年度末から5,077億円減少しました。
- ・有価証券差損益は、4,320億円、前年度末から6,133億円減少しました。これは、株価の下落等によるものです。

○太陽生命

- ・基礎利益は、530億円、前年から1.7%の減少。
- ・逆ざや額は、176億円、前年から70億円の減少。これは主に、利息及び配当金等収入の増加や予定利息負担の減少による。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、1,000.6%、前年度末から99.8ポイントの低下。実質純資産は、6,597億円、前年度末から1,749億円の減少。これらは主に、株価の下落に伴うその他有価証券の評価差損益の減少による。
- ・有価証券差損益は、2,666億円、前年度末から2,329億円の減少。これは主に、株価の下落による。

○大同生命

- ・基礎利益は、1,248億円、前年から0.7%の減少。
- ・また、当年度も217億円の順ざやとなり、順ざや額は前年から133億円の増加。これは主に、利息及び配当金等収入の増加による。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、1,095.3%、前年度末から225.1ポイントの低下。実質純資産は、7,764億円、前年度末から3,330億円の減少。これらは主に、株価の下落に伴うその他有価証券の評価差損益の減少による。
- ・有価証券差損益は、1,638億円、前年度末から70.0%の減少。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・基礎利益は、△181億円、前年から117億円のマイナス幅の拡大。これは主に、変額個人年金保険の最低保証責任準備金繰入額の増加による。
- ・逆ざや額は、前年並みの41億円。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、920.7%、前年度末から283.0ポイントの低下。これは主に、株価の下落に伴う変額個人年金保険の最低保証リスク相当額の増加による。
- ・実質純資産は、637億円、前年度末から2億円の増加。
- ・有価証券差損益は、14億円、前年度末から21億円の増加。

[平成21年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成21年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	平成20年3月期実績	平成21年3月期予想	増減率
経常収益	23,300	21,000	9.9%減
経常利益	1,557	1,150	26.1%減
当期純利益	367	390	6.1%増

1株当たり年間配当金予想は65円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成21年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,300 (7.0%減)	10,200 (10.2%減)	2,700 (49.6%増)
経常利益(△損失)	290 (49.2%減)	960 (8.3%減)	△140 (44.8%増)
当期純利益(△損失)	130 (7.9%増)	340 (11.6%増)	△100 (44.1%増)

(注)括弧内は平成20年3月期からの増減率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以上

(参考) 生命保険会社3社の平成21年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,490 (6.7%減)	460 (13.3%減)	1,070 (14.3%減)	△40 (78.0%減)
保険料等収入	17,500 (8.5%増)	6,500 (2.2%増)	8,500 (0.8%増)	2,500 (86.4%増)
逆ざや額		200 (13.6%増)	50 (－)	40 (2.5%減)
新契約高	63,500 (2.4%増)	17,600 (19.4%増)	43,200 (6.8%減)	2,700 (189.1%増)
保有契約高	593,000 (0.1%減)	170,700 (0.7%減)	399,100 (0.0%増)	23,200 (2.6%増)
解約失効率 (%)		7.5 (0.1ポイント低下)	8.5 (0.4ポイント低下)	6.5 (0.0ポイント低下)

(注) 1. 括弧内は平成20年3月期からの増減率です。

2. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

3. 大同生命の逆ざや額について、平成20年3月期は217億円の順ざやとなっております。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

(参考) 契約者配当

○太陽生命

①個人保険・個人年金保険

- ・毎年お支払いする通常の配当金

利差配当・・・前年度配当率を据え置きます。

予定利率2%以下	1.95%—予定利率
予定利率2%超、4%以下	1.75%—予定利率
予定利率4%超	1.55%—予定利率

ただし、平成13年4月2日以降成立の終身保険で一時払の契約について、配当を0とします。

死差配当・・・前年度配当率を据え置きます。

費差配当・・・前年度配当率を据え置きます。

災害疾病関係特約等に対する配当・・・前年度配当率を据え置きます。

- ・消滅時などにお支払いする特別配当金

前年度に引き続き実施しますが、下記のとおり一部変更します。

消滅時配当（責任準備金比例）・・・開始年度を1年繰り下げます。

消滅時配当（保険料比例）・・・前年度配当率を据え置きます。

疾病健康配当・・・前年度より引き上げます。

10年以上経過して消滅かつ給付金支払のない疾病保障特約等について入院給付金日額1,000円につき1,400円

(前年度：入院給付金日額1,000円につき1,200円)

②団体保険

- ・前年度配当率を据え置きます。

③団体年金保険

- ・利差配当・・・前年度より引き下げ配当を0とします。

○大同生命

①個人保険・個人年金保険

- ・前年度配当率を据え置きます。

(参考：利差配当率(一時払以外))

予定利率2%以下	2.05%—予定利率
予定利率2%超、4%以下	1.85%—予定利率
予定利率4%超	1.65%—予定利率

②団体保険

- ・前年度配当率を据え置きます。

③団体年金保険

- ・企業年金保険、新企業年金保険、拋出型企業年金保険、厚生年金基金保険、国民年金基金保険、団体生存保険および新団体生存保険は、増加責任準備金の状況に応じ、責任準備金に対して0～0.10%（前年度：0.15%）の利差配当を実施します。

- ・確定給付企業年金保険は、増加責任準備金の状況に応じ、責任準備金に対して0～0.20%（前年度：0.25%）の利差配当を実施します。